

Thank you Press 2017

サンキュー・プレス 2017

活動報告書

第15期 2016年4月1日～2017年3月31日

エコカード会員の皆さん、昨年度はご支援ありがとうございました。

皆さまからのご寄付が、さまざまなプロジェクトに役立てられ、

たくさんの感謝の声が国内外から続々と届いています。

これからも、エコカード基金へのサポートをよろしくお願いいたします。

野口健ヒマラヤに森をつくろう
(ネパール)

ネパールの森がよみがえります。
ご協力感謝します！

小島 光輝さん
NPO法人 ピーク・エイド

異常気象に負けない森づくり
(フィリピン)

かっこいいゲダンたの場所が、
小鳥や蝶が育つ自然の森に戻りました。
Thank you for your kind support as always.

長井行人
NPO法人 オイスカ

海岸林再生10か年計画
(宮城県)

宮城県名取市の開上(ゆりあげ)地区を含む
沿岸地帯100haで、松林の再生が進んでいます。
2ミリほどのかずら育て、いちばん大きい
クロマツは220cmに成長しました。

吉田 俊透さん
鈴木 和代さん
林 久美子さん
公益財団法人 オイスカ



馬と守る都留の里山保全

都留地元の皆さん
樹木を植樹して利用開始しました。
地球温暖化防止への貢献は、
皆さまのおかげです！

岩田 順明さん
NPO法人 都留環境フォーラム

南太平洋諸国支援
(ツバル)

ツバルに1万本のマングローブ植林を行なうことができました。

遠藤 秀一さん
松浦 康彦さん
アビニル・チリさん
NPO法人 ツバル オーバービュー

C. W. ニコル・
アフアンの森と東松島の森づくり
間伐ができる、森が明るくなりました。
生きものたちも喜んでいます！

大澤 渉さん
福地 健太郎さん
一揆田田人
C.W.ニコル・アフアンの森財團

アカマツの森再生

皆さまのおかげで、新潟県伊勢市アカマツ林の
手入れが進み元気になりました！

九十九里浜の海岸林を
震災前の姿へ戻そう

九十九里浜の海岸林の再生を
進めていくことができようになりました！
ありがとうございます！

大内 紀美子さん
NPO法人
森のライフスタイル研究所

ゴルフ場跡地を森に還そう
種まき塾

1000人を超える皆さま方から
苗木の供給をいただき、
スクスク育っています！

伊藤 正博さん
伊藤 真利子さん
有田屋事業室組合 富良野種まき塾

世界遺産 富士山の森を守り
再生させよう

富士山の天然林復元に向かって、
大切な第一歩を踏み出すごできました。
美しい富士山を子どもたちに残していくために。
引き続きご支援よろしくお願ひいたします。

大井 英明さん

深澤 寛さん
米山 裕美子さん
NPO法人 富士山クラブ

熱帯雨林保全
(ソロモン諸島)

大きな地震に見舞われるなど
困難もありましたが、
沢山のチャレンジが出来ました。
皆さんの応援に感謝！

職業訓練学校の
スタッフ、生徒のみなさん
NPO法人 エーピーエスディ(APSD)

サンキュー・プレス

2017

活動報告書

第15期 2016年4月1日～2017年3月31日

エコカード会員の皆さん、昨年度はご支援ありがとうございました。

皆さまからのご寄付が、さまざまなプロジェクトに役立てられ、

たくさんの感謝の声が国内外から続々と届いています。

これからも、エコカード基金へのサポートをよろしくお願いいたします。

南太平洋諸国支援
(キリバス共和国)

キリバス共和国の小学生を含め、
多くの方々とシングルロープ植林活動の輪を
広げることができました！

木村法美さん
NPO法人 国際マングローブ生態系協会

海を守るために木を植える
森は海の恋人

平成元年から続く「森は海の恋人植樹祭」を
今年も無事開催することができました！

三浦 幹夫さん
森は海の恋人
NPO法人 森は海の恋人

熱帯雨林保全
(パバニアニューギニア)

熱帯雨林が守られ再生へ！
農民の今と未来に、希望が与えられています

デーさん
荏原美知勝さん
公益財団法人 オイスカ

Dolphin
Octopus
Whale

2016年度 プロジェクトレポート

皆さまのご支援が、日本中で、世界中で、よろこばれています！



ソロモン諸島・パプアニューギニア 熱帯雨林保全

熱帯雨林保護地区として登記申請
38,000ha

熱帯雨林保全と経済発展の両立を目指して、現地の人たちの支援を実施。

ソロモン諸島とパプアニューギニアでは、森林伐採企業などから熱帯雨林を守るために、自然という財産を活用しながら共生するための意識と産業の育成を進めています。いくつか例をあげると、定置有機農法を定着させるために、地元住民への研修を実施。現地の職業訓練校において、植樹などの緑化整備。さらには活動によって生まれた成果物を現金化するために、販売店の設置も計画しています。

P.P. 特定非営利活動法人 エーピーエスディ(APS)



緑化整備
4,000m²

キリバス共和国・ツバル 南太平洋諸国支援

2016年度の実績(概算)

マンゴロープの植林
10,216本

▼キリバス共和国



P.P. 特定非営利活動法人 国際マンゴロープ生態系協会

▼ツバル



マンゴロープの植林
4,200本

小さな島国の海岸線を守るために、マンゴロープの苗木を植樹。

南太平洋には、地球温暖化の影響を受けやすい小さな島々が点在しています。そのような国々に対して、エコカード基金では長年にわたって支援を続けています。キリバス共和国やツバルでは、昨年度も海水で育てることのできるマンゴロープを植樹しました。生育した木々は、高潮やハリケーンによる高波の被害を最小限に食い止めるとともに、たくさんのCO₂を吸収。地球温暖化の防波堤となっています。

P.P. 特定非営利活動法人 ツバルオーバービュー

ネパール 野口 健 ヒマラヤに森をつくろう

苗木の育成
3,000本

標高3,600mの地で荒れた森林を再生するために、種から育てた苗木を植樹。

過度な森林伐採によって、荒れ果ててしまったネパールのサマ村。ここはヒマラヤ登山に欠かせないシェルペ(登山の案内人)の住む村ということもあり、アルペニストの野口健氏が旗振り役となったプロジェクトが動き出しました。現在はネパール人の技術者と協力して、植樹するための苗木を種子から丁寧に育てており、来年度からの植樹を目指した活動を続けています。



P.P. 特定非営利活動法人 ピークエイト

植林
1,600本

フィリピン 異常気象に負けない森づくり

植林
7,000本

現地の人たちと協力して、苗木の植樹とその管理を実施。

ここフィリピンでも森林伐採が進んだ山が増え続け、大型台風などの影響を食い止められずにいます。そこでエコカード基金では、暴風や乾燥に強い木々を植樹する活動を支援。現地の在来種6,100本のほか、暮らしも豊かにする果樹950本の苗木を育て、そのうち7,000本を植樹しました。また同時に、彼らの環境意識を高めるために研修も実施するなど、草の根の活動を続けています。



P.P. 公益財団法人 オイスカ

宮城 海を守るために木を植える 森は海の恋人

植林
1,600本

植樹祭の開催を通じて、たくさんの人が森と海のつながりを実感。

東日本大震災から6年がたった今、海は豊かさを取り戻しています。その回復に欠かすことができない海と森とのつながりの重要性に、一人でも多くの人たちに気付いてもらうため、6月に植樹祭を実施しました。当日は1,500人もの参加者が訪れ、1,600本の苗木を植樹。同時にこの取り組みを広めるために、SNS等を通じて発信すると19,000件ものアクセスを達成できました。



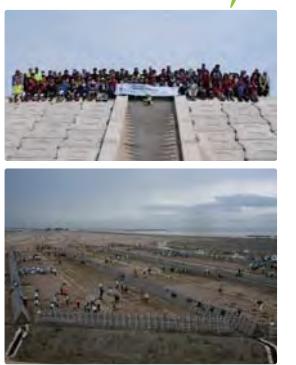
P.P. 特定非営利活動法人 森は海の恋人

宮城 海岸林再生10か年計画

クロマツの植林
1.5ha

東日本大震災からの発展的復興のために、海岸林を整備しました。

2011年の震災による津波の影響で、壊滅的な被害を受けた海岸防砂林。強風や飛砂から毎日の暮らしを守ってくれた、この1.5haの防砂林を復活させるために、クロマツを植える活動が始まりました。エコカード基金がその一部を支援していますが、全体では昨年度だけで、植林面積が11ha。育林面積においては東京ドームの約8倍になる37haに達しました。1,786人のボランティアと力を合わせた取り組みは、宮城県知事をはじめとした方々の視察が相次ぎ、高い評価を得ています。



P.P. 公益財団法人 オイスカ



北海道 ゴルフ場跡地を森に還そう 種まき塾

苗木の育成
8,530本

昨年度も、種から育てた苗木が北の大地ですくすくと育っています。

森の中から種子や実生(発芽してしまらない木)を集め、苗木を育て、道内で植樹する団体に寄付する取り組み。富良野自然塾をはじめ、8,530本の苗木を届けることができました。また今年は、コスモ石油エコツアーミンなどの参観日の一環として、エコカード会員の皆さんと育苗体験などを実施。ゴルフ場の跡地が、森に戻っていく姿を実際に見学してもらうことができました。



P.P. 有限責任事業組合 富良野種まき塾

より詳しい情報は
「コスモ石油エコカード基金活動紹介」の
ホームページをご覧ください。
<https://ceh.cosmo-oil.co.jp/kankyo/eco/activity.html>



千葉 九十九里浜の海岸林を震災前の姿へ戻そう

クロマツの植林
2,000m²

東日本大震災の被害を受けた防災林を、復活させるプロジェクトがスタート

千葉県の海岸線が、東日本大震災の被害を受けていることは、あまり知られていません。しかし、津波によってなぎ倒された防災林が、実は至る所にありました。そこで市民ボランティアの協力のもと、クロマツの植樹とその整備を実施。参加者からは「千葉県も被災した地域とは知らなかった」「来年の植林も楽しみ」など、たくさんの声が寄せられています。



P.P. 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

山梨 馬と守る都留の里山保全

里山の整備
15ha

森林が本来の力を発揮するために、里山で間伐を実施しています。

ここは、富士山の北東に位置する山梨県の都留。東京ドームの約3倍という広大な面積の里山を守る活動が進められています。里山がもつCO₂の吸収能力を十分に発揮できるように間伐を実施し、そのときに発生した間伐材を、薪という商品に。また化石燃料に頼らない取り組みのひとつとして馬の力も活用。田畠を耕したり荷物を運搬したりする働き手としてももちろん、その糞尿を肥料として活用しています。



P.P. 特定非営利活動法人 都留環境フォーラム

静岡 世界遺産 富士山の森を守り再生させよう

森の整備
6,000m²

草刈りや間伐を実施することで、世界に誇れる森に。

富士山の森を、世界遺産の名にふさわしい姿であり続けるために、2つの活動を進めています。ひとつは、2012年に植樹した広葉樹の森を育てる取り組み。今年は、植えた木々が育ちやすい環境をつくるために、4回にわたって雑草を取り除く作業を実施しました。もうひとつは、西白塚協定林の森づくり。こちらは1996年の大型台風による倒木被害からの整備のため、間伐などによって森を整備しました。



P.P. 特定非営利活動法人 富士山クラブ

長野・宮城 C.W.ニコル・アファンの森と 東松島の森づくり

森の整備
11ha

度重なる悪天候に負けず、CO₂を吸収しやすい森をつくっています。

アファンの森では、およそ11haにおよぶコナラ林で間伐や枝打ちを実施。木々が生育しやすい環境を整えCO₂がより吸収しやすい森に整備しました。また間伐材の搬出は馬を利用し、化石燃料を使わない工夫がなされています。一方の東松島での取り組みは、東日本大震災後手付かずになった森の再生、さらにはその啓蒙活動。竹や藪の切り払いのほか、シンボルでもあるツリーハウスの整備を実施しました。



P.P. 一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団

長野 アカマツの森再生

再生面積
4ha

完了しました

40人の参加者たちと森を整備。天然の木のが育ちやすい環境に。

手入れが行き届かず、本来の機能を発揮できずにいた長野県伊那市のアカマツの森。かつてのような元気な森に復活させるために、この1年間でのべ48人のボランティアと4haの森を整備することができます。3年間による取り組みによって、シメジなどの食用ができるキノコが生息するボテンシャルを高めることができるとともに、生物多様性調査でも順調な進捗が確認できました。



P.P. 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

みんなの参観日

寄付金500円の使いみちを、みんなで見に行こう!

エコツアー・感謝イベントへの
お申し込みは、同封のアンケート用紙から。
(コスモ石油ホームページからもお申し込みいただけます)

エコカード会員特典

検索

インターネット接続環境をお持ちでない方は
こちらにお問い合わせください。

TEL 0570-064-205
(受付時間: 平日10時~17時)
近畿日本ツーリスト株式会社東日本
コスモ石油エコカード基金係

参加無料♪

感謝イベント 参加者募集!!

牡蠣養殖業を営む傍ら、豊かな海を取り戻すための
植林活動をつづける、NPO法人「森は海の恋人」理事長
**森と海のつながりを
食べて学んで体験しよう!**

畠山重篤さんトークライブ!

開催日: 2018年2月18日(日)14時~16時
場所: プライムタワー名古屋
募集人数: 100名 ※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。
参加費: 無料
一次申込締切: 2017年8月31日(木)

畠山重篤 Profile
NPO法人 森は海の恋人 理事長、
京都大学フィールド科学教育研究センター 社会連携教授
牡蠣養殖業を営む傍ら、豊かな海を取り戻すための植林活動をつづける。
2003年緑化推進功労者内閣総理大臣表彰、
2013年国連森林フォーラム「フォレスト・ヒーローズ」受賞
NHK総合「プロフェッショナル」等テレビ出演多数

富山重篤さんトークライブ!
~森と海のつながりを食べて学んで体験しよう~

テーマ 「植物プランクトンが世界を救う」

第一部 「牡蠣の養殖と食物連鎖」

第二部 「植物プランクトンと温暖化」

※テーマは仮のものです。※試食コーナーは変更となる場合がございます。

寄付金の使いみち見学ツアー 参加者募集!!

寄付金500円の効果

500

宮城県
気仙沼市

2017年8月26日(土)~27日(日)
海を守るために木を植える 森は海の恋人

赤潮による環境汚染が深刻だった昭和40年代。宮城県気仙沼の漁師たちの間には「海が豊かであるためには、海に注ぐ川、その上流にある森が豊かでなければならない」という意識が広まり、漁師による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」がおこなわれてきました。20年以上に渡って約3万本が植えられた森や山。漁師たちの思いが詰まったその活動現場を見に行きませんか?お昼ご飯は鮮度抜群の海鮮バーベキューを予定しています。

New!
前泊対応

タイムスケジュール

1日目

- 09:00 JR一関駅集合
- 11:00 プロジェクト活動会議
- 12:30 豊海BBQへキュー予定
- 14:00 船で九十九崎浜へ
- 16:30 ホテルチェックイン
- 18:00 夕食

2日目

- 08:30 ホテル出発
- 09:30 植樹祭開催地到着
- 12:00 昼食(手打ちそば予定)
- 13:30 日帰り温泉に立ち寄り
- 15:00 JR一関駅解散

集合・解散場所: JR一関駅
宿泊場所: 気仙沼プラザホテル
参加費: 大人(18歳以上)4,900円
小・中・高校生 2,900円
※宿泊費・食事4付(4回)

募集人数: 20人(お申込多数の場合は抽選となります)
申込締切: 2017年7月17日(月)

前泊をご希望される方: お一人様1,000円の追加料金で、仙台駅周辺のビジネスホテルをご用意いたします。

※スケジュールは変更となる場合があります。

世界遺産
富士山

2017年9月23日(土)~24日(日)
世界遺産 富士山の森を守り再生させよう

世界遺産に登録された富士山。その麓に位置する西白塚には、一部が大型台風によってなぎ倒されてしまった人工の針葉樹林があります。エコカード基金では、2016年からこの人工林を元の自然林に戻す活動を開始しました。1年目の活動を終え、少しづつ変化を遂げているプロジェクトの活動現場を見に行きませんか?富士山の専用ガイドが青木ヶ原樹海をご案内するエコハイキングも実施します。

New!
前泊対応

タイムスケジュール

1日目

- 09:00 JR三島駅集合
- 11:30 豊海BBQ
- 12:00 西白塚協定林到着
- 13:00 森の見学会
- 16:30 ホテルチェックイン
- 18:00 夕食

2日目

- 08:00 ホテル出発
- 09:00 青木ヶ原樹海到着
- 12:00 エコハイキング
- 15:00 JR三島駅解散

集合・解散場所: JR三島駅
宿泊場所: ホテル美富士
参加費: 大人(18歳以上)お一人様4,900円
小・中・高校生 お一人様2,900円
※宿泊費・食事4付(4回)

募集人数: 20名(お申込多数の場合は抽選となります)
申込締切: 2017年7月17日(月)

前泊をご希望される方: お一人様1,000円の追加料金で、三島駅周辺のビジネスホテルをご用意いたします。

※スケジュールは変更となる場合があります。

2017年度 新たなプロジェクトがスタート!!

エコカード基金は、CO₂の削減を目的に、新しく支援するプロジェクトを選定いたしました。皆さまからの寄付金を役立てていきます。

地域住民で守る神山の里山保全 徳島

プロジェクトパートナー: 遊べる森づくりの会



ここ徳島県の神山では、住民の高齢化や生活スタイルの変化によって、集落に近い針葉樹林でも整備が行き届かず、CO₂の吸収能力や土砂災害の防止機能が低下していました。その里山をもう一度、さまざまな人が集が集う場にしていくために、エコカード基金の支援がスタート。間伐などによって森を整備するほか、そのときに生じた間伐材を活用。さらには地域住民の意識を高めるために、啓発活動を実施していく計画です。



プロジェクトの最新情報は
Facebookをチェック!

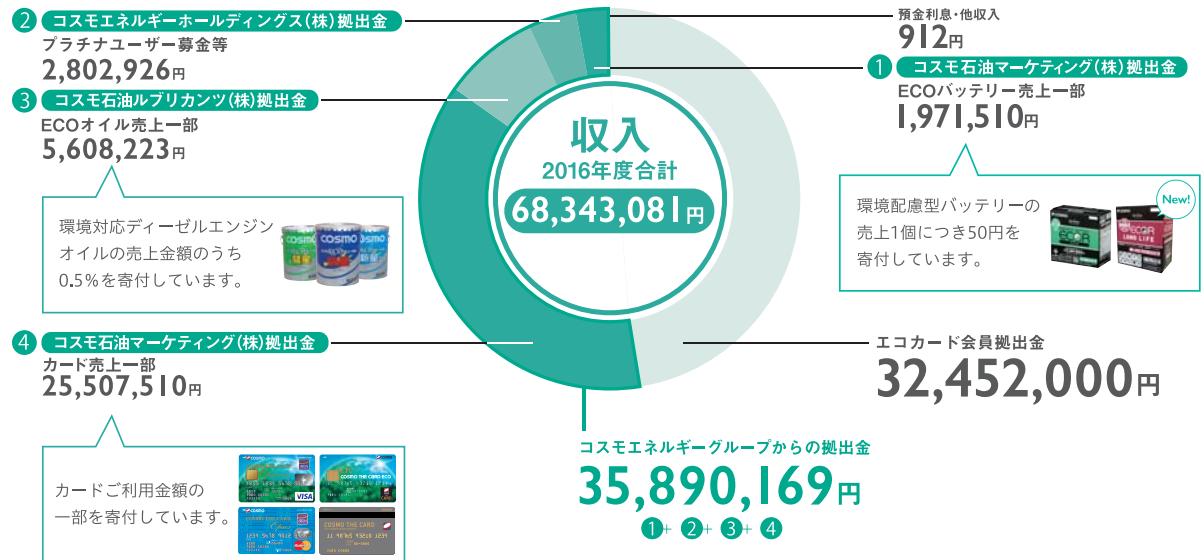
2017年度の新たなプロジェクトの情報を始め、「コスモ石油 エコカード基金」の活動については、Facebookをチェック!
国内外のプロジェクトの活動や「みんなの参観日」のレポートなど最新情報がご覧いただけます。

動画も見られるFacebookページをご覧ください。
<http://www.facebook.com/cosmo.net/>

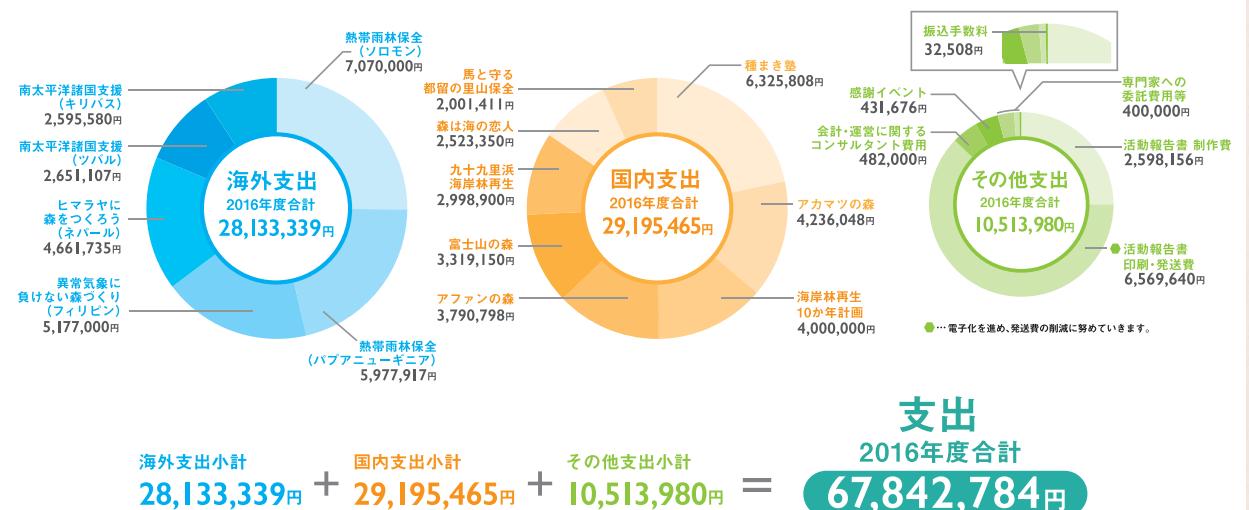


收支報告

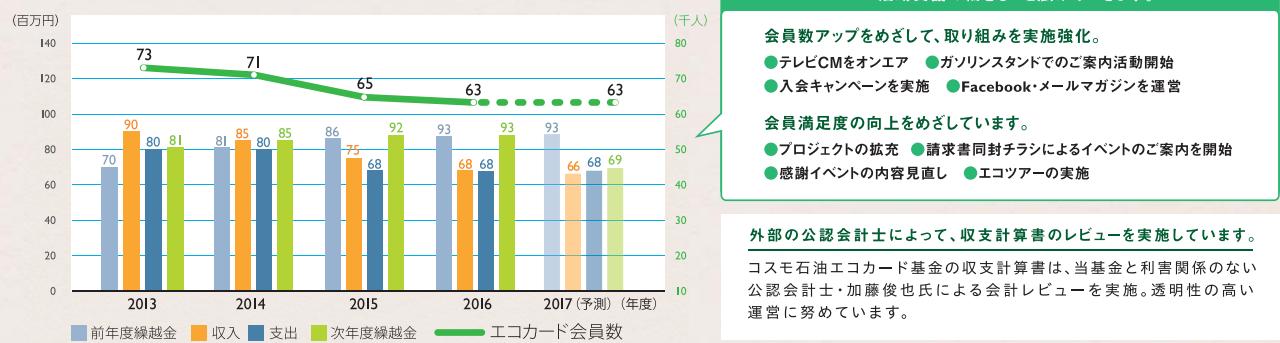
収入の部



支出の部



資産規模と会員数の推移



理事長あいさつ

エコカード会員の皆さんに感謝をこめて



コスモ石油エコカード基金理事長

会員の皆さまのおかげをもちまして、エコカード基金は設立から16年目を迎えました。日頃より基金を支えていただいている会員の皆さんには、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。

2016年は世界各国が主体的に気候変動問題に取り組むことを決めたパリ協定が発効し、国内でも地球環境に対する社会の関心は高まっていくことが予想されます。

エコカード基金は、設立当初から会員の皆さまと当社グループの共通の課題である地球温暖化問題に取り組んでまいりました。環境問題の根本的解決に繋がるよう、支援地域の経済成長と環境保全が両立する取り組みを重視するという活動方針は、今も搖るぎないものです。

社会の潮流や会員の皆さまからのご意見にも耳を傾けながら、今後も変わらず基金の活動方針を全うすることに尽力し、しっかりと地に足をつけて取り組んでまいりたいと考えおります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



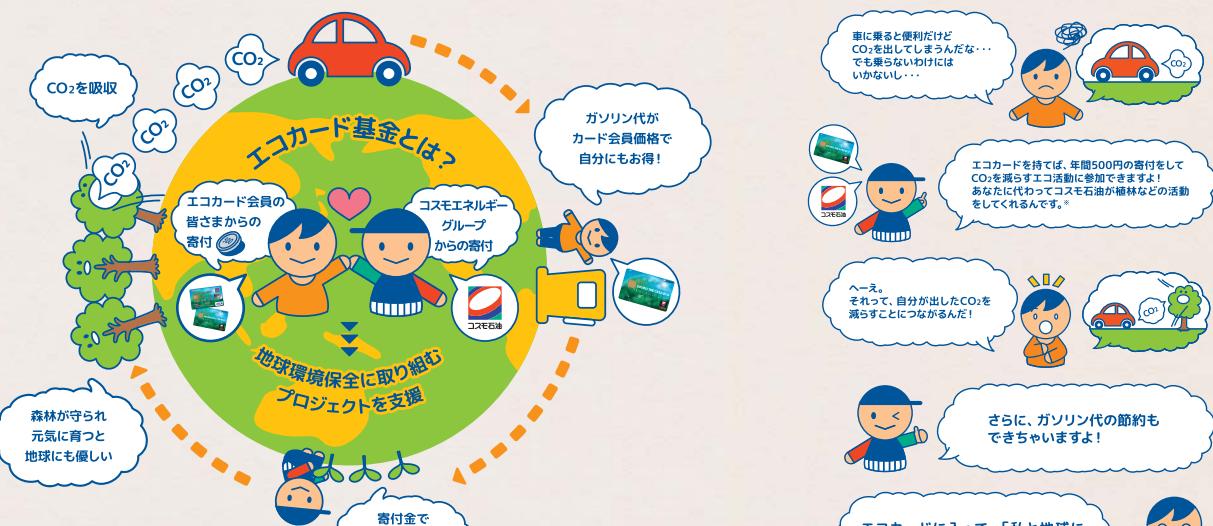
スモ石油エコカード基金評議員
境NGO：ジャパン・フォー・サステナビリティ理事長

多田 博之

評議員メッセージ —

2016年度は、国際的な枠組みであるSDGs(Sustainable Development Goals)やパリ協定を受けて、様々な国際会議が進展しました。温暖化はその中でも取り上げられており、特に緊急性が重視される分野であるといえます。国内でも温暖化が大きな要因の一つと考えられる緊急性の高い事例は数多く報告されています。石垣島と西表島の間に広がるサンゴ礁の白化問題もその一つです。温暖化は本来全員で取り組まなければならない課題ですが、これからもエコカード会員の皆さんと一緒に石油事業に携わるコスモエネルギーグループが一体となり、温暖化に取り組むプロジェクトを長期的に支援されいくことを期待しています。

エコカード基金のしくみ



コスモ・ザ・カードのご紹介



年間500円でできるエコ活動。皆さまの「地球のために何かしたい」という思いを、気軽に実現できるカードです。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、お客様から毎年お預かりしている500円とコスモ石油グループからの寄付金を、環境保全活動を行うNPOなどに寄付することで、その活動をサポートしています。

「環境活動に貢献したい」という皆さまのためのエコカードのしくみ!



▼お問い合わせ先



コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」
月～土曜・祝日/9:15～17:30 日曜/10:00～17:30

携帯電話専用

0120-987-622 03-4330-1660



コスモ・ザ・カード・オーバス「エコ」
年中無休/9:00～21:00

北日本 022-771-1500 中部 059-353-2100
東京 043-296-6200 大阪 06-4863-0100

アンケートにお寄せいただいたご意見にお応えします

Q 繰越金を減らして
もっと活動に使ってほしい

会員の皆さまからの声にお応えして、2016年度は繰越金を減らして活動に使用する計画を立ておりましたが、予定していなかった公的機関からの助成金の獲得やプロジェクトの経費節約の努力をすることで、支出を大幅に削減することができました。この結果、繰越金が増えることになりましたが、今後も経費を節約することでより多くの繰越金をプロジェクトに使用できるよう努力をしてまいります。

Q 会員自身がより多く
寄付できる仕組みを作ってほしい。

ありがとうございます。エコカードは、ガソリンスタンドでのご利用やエコバッテリーのご購入等を通じて、ご利用いただければいただけるほど環境に貢献できる仕組みとなっております。また、昨年度から、長期に渡ってエコカードを支えてくださっている会員の皆さまに感謝の気持ちを込めて、プラチナユーザー募金の取り組みも開始しました。会員の皆さまのお気持ちをしっかりと受け止めて、より環境保全活動に役立つエコカード基金をめざしてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(詳しくは紙面上部の「エコカードのしくみ」をご覧ください。)

この他のQ&Aはコスモ石油ホームページの「環境FAQ」をご覧ください。

コスモ石油エコカード FAQ

検索

<https://ceh.cosmo-oil.co.jp/kankyo/faq/question.html>

編集後記

エコカード基金 事務局
大橋 青樹



会員の皆さまのおかげで、3月には約8年ぶりに会員数が純増に転じました。ありがとうございました。皆さまのお声に応えてまいりますので、ぜひアンケートにご意見をお寄せください。これからもよろしくお願ひします。

エコカード基金 事務局
鶴岡 紘里佳



最後までお読みいただきありがとうございました。
寄付金の成果実感ツアーや感謝イベントで会員の皆さまとお会いできることを楽しみにしています。Facebookは私がアップしています!ぜひチェックしてください。

コスモ石油
エコカード基金
「ずっと地球で暮らそう。」

〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報室内
エコカード基金事務局 TEL 03-3798-3101



この活動報告書は、FSC認証の紙を使用しています。